

令和8年度 第1回 国土交通省大阪航空局 入札監視委員会

審 議 概 要

開催日及び場所	令和8年6月16日（火） 大阪航空局 B・C会議室	
委 員	委員長 竹林 幹雄（神戸大学大学院教授） 委 員 森實 俊充（大阪工業大学教授） 委 員 定岡 由紀子（弁護士）	
審議対象期間	令和7年10月1日～令和8年3月31日	
審議概要		
1. 報 告	入札・契約手続きの運用状況について	
2. 抽出案件	総件数 3件	
	(1) 工 事	一般競争（総合評価落札方式）1件
	(2) 建設コンサルタント業務等	一般競争（最低価格落札方式）1件
	(3) 役務の提供及び物品の製造等	随意契約（最低価格落札方式）1件
委員からの意見・質問、それに対する大阪航空局の回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	抽出した3案件について、参加条件の設定、資格の特定等について審議し、問題無いと判断した。	

審議概要（別紙）

2. 抽出案件

意見・質問（委員）	回答（大阪航空局）
（工事） ○ 1者応札となった理由について、どのように考えていますか。 ○ ワークライフバランスの加点はいつから行われているのでしょうか。 ○ 23点の配点のうち10点が若手・女性活躍などワークライフバランスによる評価となっていますが、意図して割合が高くなっているのでしょうか。	○ 先行工事として令和6年度に載荷盛土による地盤改良工事について、入札不調から随意契約で発注しており、本件の受注者と同一者となっています。北九州空港の滑走路延長事業は開始から3年程度経過しており、既に多くの工事が契約し着工されております。今回の工事は、令和6年度から施工した載荷盛土を撤去する工事であり、経験、知見等がある本件受注者の1者のみになったものと考えています。 ○ 以前は建築工事のみでしたが、令和7年12月よりその他の工事についても加点しています。 ○ 本工事は不調不落や1者応札に対応するための取り組みとして令和6年度から試行している5つの方式の一つである次世代技術登用促進型を採用しており、ベテラン技術者の確保が難しい中で、若手女性技術者の活用を促進するため、採用しております。企業の施工能力については別途確認することで品質を確保しています。

意見・質問（委員）	回答（大阪航空局）
（建設コンサルタント業務等） ○ 省エネ化の提案内容、また地域による差異への対応については、どのように決定されるのでしょうか。 ○ 1 者応札となったこと及び落札率が高いことについて、どのように考えていますか。 <意見> ○ 釣り天井の脱落防止対策について、東日本大震災以降も多くの施設で問題が残っており、今後の地震対応の観点から早期の対応が必要であると考えます。 （役務提供および物品製造等） ○ 同じような装置が他の空港に導入されているのでしょうか。また、今後の展開予定はどのようなになっているのでしょうか。 ○ 他の装置についても同じ会社でしか対応できないのでしょうか。	○ 基本メニューは航空局として定めており、各空港の地域特性を踏まえて、各施設の状況や条件に応じた設計を実施することとしています。 脱炭素化推進計画に基づき、各空港で2030年度46パーセント削減を目標としており、太陽光パネル設置やLED化等が目標達成に向けた取り組みとなっています。 ○ 入札公告を行い、資料を入手した者は4者いましたが、最終的には1者となっており、技術者の確保が困難であることが要因であると考えています。 予定価格は業者の見積もりをそのまま採用しているのではなく、積算基準に基づき所要人工を積み上げて算出しており、落札率の高さと積算方法に因果関係はないと考えています。 ○ フルスクリーンの装置は奄美空港のみであり、他の離島空港では音声とカメラを使用した装置が導入されています。現時点では他空港への展開計画はありません。 ○ 同じような遠隔装置を使用している他の空港についてもノウハウを持った会社で対応しており、基本的にはその会社でなければ対応できません。

意見・質問（委員）	回答（大阪航空局）
○ 1者による随意契約の場合、価格の適正性をどのように担保しているのでしょうか。 ○ 奄美群島内ではジェット機が就航できる空港が奄美大島と徳之島の二つありますが、徳之島はフルスクリーンではない装置で対応しているのでしょうか。また両空港を一緒に対応することはできないのでしょうか。 <意見> ○ 制度のサステナビリティに関する危機感があると思います。特に九州地方では産業が勃興する一方でインフラ不足となっていますが、インフラ工事の事業者そのものが減少しています。 不調不落が多く発生している構造的な問題への対応が必要であり、地元を含めた建設関係産業を支えるような形での対応を検討していただきたい。	○ 予定価格は、基準による調整作業の工数と、旅費や管理費等から算出しています。 ○ 奄美空港は、離着陸回数等を考慮して装置を設置しています。徳之島についてはフルスクリーンではない装置により航空情報の提供で対応しています。